

集落排水の監視 システムを開発

小松電機産業

制御機器製造の小松電機産業（本社・島根県八束郡八雲村、小松昭夫社長）は五日、窒素やリンの自動除去装置を組み込んだ新しい「集落排水自動制御監視システム」を開発したと発表

した。すでに同県簸川郡佐田町で運転を開始しており、当面は十カ所程度の設置を目標にしている。

このシステムは「NEWやくも水神」。公衆電話回線を使い、複数の場所から同時に集落排水の管理・監視ができるシステム「やくも水神」（平成二年開発）に、自動制御で流入水の窒

素やリンを除去する高度処理施設を加えた。水質や流入量などの計測データを基に自動的に水処理機器を操作するため、省力化でき従来の施設に比べ電気料金が

四〇％節約。窒素を九〇％、リンを七〇％除去できるといふ。

価格は人口千人規模の地域を対象にした処理場で二億八千万―三億円程度。特

に、富栄養化が問題になりやすい宍道湖・中海、琵琶湖など閉鎖水域に近い下水道を中心に普及を図るといふ。